

新県立体育館整備基本計画(案)パブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見要旨	県の考え方・対応
1	1	建設の是非、 目指す姿	各スポーツの日本代表戦や国際大会、各種イベントを誘致できるアリーナを整備すべきである。	アリーナは、公式大会が開催できる規格とし、会場設営等を行いやすい構造とするなど、様々な催しを誘致できる施設として整備します。
1	2	建物機能・規模、 設備	客席は6,000席にとどまらず、限りなく7,000席に近い席数としてほしい。	アリーナの規模は、Bプレミア基準を上回る6,000人以上となることを最低基準とします。
1	3	建物機能・規模、 設備	観客席を一周するリボンビジョンを設けてほしい。	アリーナは、リボンビジョンの導入など、プロスポーツ等を「みる」ことを重視して整備します。御提案の内容については、要求水準書等の策定の際の参考といたします。
1	4	建設の是非、 目指す姿	子供たちが未来に夢や希望を持てるアリーナを作ってほしい。	アリーナは、プロスポーツのほか、中・高総体の全県大会を開催するなど、子供たちが憧れを持てる施設として整備します。
2	5	建設の是非、 目指す姿	駐車場が少ないことや、また丘を崩す必要があることを踏まえ、八橋運動公園内に整備することに反対する。建設場所は、ブラウブリッツ秋田の試合開催時に飲食ブースが並ぶ場所である。	建設場所については、運動施設の集積や、交通アクセスの状況、賑わいづくり等を考慮し八橋運動公園内に整備することとし、具体的な場所として、既存の運動施設の移転等を伴わずに用地を確保できる丘周辺としたものです。
2	6	その他	アリーナ建設よりもスタジアム建設を優先して整備すべきである。	現県立体育館は老朽化が進んでおり、プロバスケットボールチームである秋田ノーザンハピネッツのBリーグプレミアへの参入も考慮して、令和10年秋までに新県立体育館を整備する計画です。
2	7	建設場所	県立スケート場を体育館にすべきである。	建設場所については、運動施設の集積や、交通アクセスの状況、賑わいづくり等を考慮し八橋運動公園内に整備することとしたものです。
2	8	その他	特定のチームが優先して使用するのであれば、当該チームに相応の負担を求めるべきである。	興行主となるチームには、施設使用料はもとより、興行時における適切な交通対策の実施などを求めています。
3	9	駐車場・アクセス対策	多額の費用をかけて新たな丘を再整備する必要性に疑問である。その分駐車場の台数を増やしてほしい。	丘を生かした整備を行うことにより、緑地と一体化した特徴的な施設にしたいと考えております。駐車場については、全県大会等の際、主催者、選手、応援の家族等の車に十分に対応でき、かつ、周辺で交通渋滞が生じない適正な規模である500台としました。数千人もの観客が訪れる興行時には、公園周辺の公共・民間駐車場(約1,200台)の活用や、秋田駅周辺の民間駐車場(約2,600台)と路線バス・タクシーを組み合わせたパークアンドライドのほか、興行主の責任において臨時駐車場を確保し、シャトルバスを運行するなどの対策を講じることが適当と考えております。
3	10	駐車場・アクセス対策	ハピネッツの興行時にどの程度の間隔でシャトルバスを運行させるのか計画しているか。興行時の混雑具合等を把握し、計画すべきである。	シャトルバスの運行については、想定される観客数、周辺施設でのイベントの実施状況、時間帯等を総合的に勘案し、興行主の責任において計画されるものと考えております。

新県立体育館整備基本計画(案)パブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見要旨	県の考え方・対応
4	11	建設の是非、目指す姿	コンサートやアイスショーを開催できる施設にしてほしい。	新県立体育館は、プロスポーツなどの興行のほか、コンサートなどのイベントを開催できる施設として整備します。
4	12	建物機能・規模、設備	音響に配慮した施設にしてほしい。	新県立体育館は、プロスポーツ等を「みる」ことを重視して整備し、臨場感のある演出が可能となるよう、音響設備等も導入します。
5	13	その他	臨時財政対策債はなぜ減少するのかなど、県財政の見通しについて、説明の省略がある。財政規模が縮小する中、事業のスリム化が必要ということだと思うが、新県立体育館整備との関係がわかりにくい。	基本計画の趣旨や構成上の都合から、財政当局が示した県財政の状況の概要を示すことにとどめ、詳細な分析などは省略しております。厳しい財政状況が見込まれる中、建設や維持管理に要する県の負担をできるだけ抑制する事業方式が必要であるという趣旨です。
5	14	駐車場・アクセス対策	駐車場の台数はなぜ500台なのか。	全県大会等の際、主催者、選手、応援の家族等の車に十分に対応でき、かつ、周辺で交通渋滞が生じない適正な規模として、駐車場の台数は500台としました。
5	15	駐車場・アクセス対策	県民意見にある駐車場の充実の意味は何か。	主に、駐車台数を増やすことを意味しております。
5	16	建物機能・規模、設備	県の気候や課題に合った最高水準の施設を期待する。	雪国固有の課題や地球温暖化の影響等も考慮し、新県立体育館は、利用者が快適に利用できる施設とします。
5	17	建設の是非、目指す姿	子供たちに希望を与えられるような先進的な設備の整備を行うべきである。	新県立体育館は、プロスポーツのほか、中・高総体の全県大会を開催するなど、子供たちが憧れを持てる施設として整備します。
5	18	駐車場・アクセス対策	庄内地方からの利用も想定し、国道7号線の拡幅の要望を国に出してはどうか。	庄内地方からの車でのアクセスについては、御指摘の国道7号線の改良や、日本海東北自動車道などの整備が進み、利便性が高まっているものと認識しております。
5	19	その他	赤ちゃんや子供に関する施設を「その他施設等」で括り、残念な表現である。子育て世代や他県からの来訪者に本施設でのスポーツ観戦等への安心感を与えるため、「主な施設」にキッズルーム等を入れてはどうか。	基本計画に記載の機能は、全て県として重視しているものです。
5	20	建物機能・規模、設備	授乳室、キッズルーム、センサリールームにエアコン等の空調設備を設置してほしい。	新県立体育館は、冷暖房を完備します。
5	21	その他	授乳室、キッズルーム、センサリールームは、大きな項目として扱うべきである。	基本計画に記載の機能は、全て県として重視しているものです。

新県立体育館整備基本計画(案)パブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見要旨	県の考え方・対応
5	22	建物機能・規模、設備	防災拠点とする場合、電源の確保が重要となるが、どのように対応するのか。	新県立体育館は、非常用発電設備などの予備電源の整備も想定しています。
5	23	緑地・遊具公園等の外構	イメージ図の桜は道路に面しており、鑑賞する場合は駐車場を横切る必要があり、危険ではないか。	頂いた御意見は、要求水準書等の策定の際の参考といたします。
5	24	緑地・遊具公園等の外構	みちのく杜の湖畔公園のような、水場などの五感を通して遊べる場所を希望する。	頂いた御意見は、要求水準書等の策定の際の参考といたします。
5	25	緑地・遊具公園等の外構	緑地や遊具広場等へのペットの立ち入りのルールはどうなるか。	公園利用者が緑地や遊具広場等で快適に過ごせるよう、今後、公園管理者である秋田市とも協議しながら、検討してまいります。
5	26	緑地・遊具公園等の外構	緑地や遊具広場等において、鳥の糞などに対応するため、清掃員等の配置を想定しているか。	一般的な維持管理業務として、緑地や遊具広場等での定期的な清掃が必要であると認識しております。
5	27	緑地・遊具公園等の外構	児童会館との回遊性の向上を図るため、案内等を設置するべきである。	頂いた御意見は、要求水準書等の策定の際の参考といたします。
5	28	緑地・遊具公園等の外構	キッチンカーや屋台の出店スペースは、天候に配慮した設計とするべきである。	頂いた御意見は、要求水準書等の策定の際の参考といたします。
5	29	緑地・遊具公園等の外構	県民が屋内でくつろげる居場所として、スポーツ科学センターをリメイクしてはどうか。	新県立体育館は、老朽化が進む現県立体育館とスポーツ科学センターを集約化した上で整備することとしており、その財源として活用する公共施設等適正管理推進事業は、新施設の供用開始から5年以内に、旧施設を廃止することが要件となっています。また、都市公園法上の敷地面積や建築面積の規制の関係上、同センターの建物を現状のまま存続させることもできない状況です。このため、現県立体育館と同様に解体することとしております。
5	30	緑地・遊具公園等の外構	0歳児はインクルーシブ遊具で遊べないと思うがいかがか。	0歳児が遊べる遊具は想定していません。
5	31	緑地・遊具公園等の外構	遊具広場の整備には、山形市のコパルを参考にしてはどうか。	御指摘の施設のほか、先行事例を調査し、要求水準書等の策定の参考といたします。
5	32	緑地・遊具公園等の外構	障害者や要介護者、妊産婦などの専用駐車スペースには、屋根を設けるなど秋田の気候を考慮した設計にするべきである。	頂いた御意見は、要求水準書等の策定の際の参考といたします。

新県立体育館整備基本計画(案)パブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見要旨	県の考え方・対応
5	33	緑地・遊具公園等の外構	県外からのツアーバスに対応するため、ロータリーはバスが駐車できるようにするとともに、VIPへの対応を考慮するべきである。	頂いた御意見は、要求水準書等の策定の際の参考といたします。
5	34	その他	多様な文化的行事の利用が排除されないようにするべきである。	新県立体育館は、御提案の催しを含め様々なイベントの開催にも対応できる施設とします。
5	35	駐車場・アクセス対策	駐車場は、なぜ有料とするのか。	駐車場の整備と維持管理には相応のコストが発生することから、利用者負担の原則を踏まえ、利用者によりその一部を負担して頂く考えです。また、市街地にある他県の類似施設では、有料が一般的です。
5	36	駐車場・アクセス対策	駐車場の利用率をどのように見込んでいるのか。	Bリーグ等の興行時は主催者が駐車場を全て借り上げて利用することを想定し、また、それ以外のアマチュア大会や一般利用でも一定の利用があるものと試算し、一年間で総額2,400万円の利用率収入を見込んでいます。
5	37	駐車場・アクセス対策	駐車場の券売機の仕様や、精算方法、除雪等の運用はどのように想定しているか。	駐車場の設備等の具体的な仕様や精算方法については、事業者の提案によりますが、利用者の利便性や除排雪、維持管理費等の観点を重視し、今後、要求水準書等の内容を検討してまいります。
5	38	その他	MICEとは何か。	Meeting（企業等の会議）、Incentive Travel（研修旅行等）、Convention（学会等の国際会議）、Exhibition/Event（展示会・見本市等）の略です。
5	39	その他	消費効果の計算において、スポーツ競技とコンサート等の割合が示されていないため、本消費効果が、スポーツを優先して利用するとしている方針の裏付けになる数字とは言い難いのではないかと。	消費効果の計算に当たっては、Bリーグ等のトップスポーツの利用を年間40日、コンサート等のイベント利用を年間12日と設定し、他の要素も加味して算出しております。
5	40	緑地・遊具公園等の外構	キッチンカーの出店場所や飲食施設の場所はどこを想定しているか。また、天候を考慮した設計か。	具体的な場所や仕様は、最終的には民間事業者の提案によりますが、利用者の利便性等の観点から最も適切と考えられる場所に、天候も考慮した設計で整備するよう求めてまいります。
5	41	緑地・遊具公園等の外構	県外からはグルメも楽しみにしているため、秋田県の産業構造を活かせるような設備整備の現実的な対応をするべきである。	イベント等の主催者に対しては、県外からの参加者にも楽しんで頂ける秋田ならではのグルメの提供などを期待しております。
5	42	建物機能・規模、設備	授乳室やおむつを替える設備は利用しやすい場所に設置してほしい。	頂いた御意見は、要求水準書等の策定の際の参考といたします。
5	43	建物機能・規模、設備	離乳食を食べさせる場所の想定はあるのか。	授乳室や休憩スペースなどの活用を想定しています。授乳室については、離乳食が必要な幼児を想定した設備の導入についても検討しております。
6	44	建物機能・規模、設備	財政的負担のツケを将来世代へ先送りすることのないよう、維持管理費が少ない、コンパクトで、採算性を重視した施設としてほしい。	新県立体育館は、環境性能の高い施設とし、メンテナンスに配慮したシンプルな構造とするなど、ライフサイクルコストの低減を意識して整備・運営します。

新県立体育館整備基本計画(案)パブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見要旨	県の考え方・対応
7	45	駐車場・アクセス対策	費用をかけて丘を整備する必要性は乏しく、むしろ災害時等を考慮し、駐車スペースの確保が第一ではないか。	丘を生かした整備を行うことにより、緑地と一体化した特徴的な施設にしたいと考えております。全県大会等の際、主催者、選手、応援の家族等の車に十分に対応でき、かつ、周辺で交通渋滞が生じない適正な規模として駐車場の台数は500台としました。
8	46	建物機能・規模、設備	1、2階は15000席を備えたサッカーをはじめとした球技場に、3階以上を新県立体育館にしてはどうか。	御提案の施設とする場合は、都市公園法上の建築面積の制限に抵触し、建設できません。また、どのような土地であっても、過度の財政負担が生じ、工期の見込みも立たないことから、公設では実現困難であると認識しております。
8	47	駐車場・アクセス対策	八橋運動公園内の駐車場で足りない場合は、文化会館跡地、放送局跡地を活用し、駐車場の駐車可能台数を増やしてほしい。	全県大会等の際、主催者、選手、応援の家族等の車に十分に対応でき、かつ、周辺で交通渋滞が生じない適正な規模である500台としました。数千人もの観客が訪れる興行時には、公園周辺の公共・民間駐車場(約1,200台)の活用や、秋田駅周辺の民間駐車場(約2,600台)と路線バス・タクシーを組み合わせたパークアンドライドのほか、興行主の責任において臨時駐車場を確保し、シャトルバスを運行するなどの対策を講じることが適当と考えておりますので、県としては、両跡地の活用は考えておりません。
9	48	その他	新県立体育館整備において、県産材活用と県内中小企業の参画に配慮してほしい。	本事業は、WTOに基づく政府調達に関する協定の適用を受けるため、入札参加要件に地域要件等を設けることはできませんが、従来手法による整備の場合と同様に、地元企業への発注などの配慮を求めています。また、県産材については、Bプレミア基準のアリーナに不可欠なスイート・ラウンジなど、高級感やホスピタリティが求められる諸室の内装等に適するものと考えられます。このため、新県立体育館のPFI事業に関心のある設計・建設業者との官民対話の場面では、県から当該業者に対し、品質の高い県産材を高度な技術で加工し、魅力ある製品として生産・販売している県内業者・団体がいることを紹介しておりますので、県内事業者においても、積極的に営業活動を展開することを期待いたします。
10	49	駐車場・アクセス対策	駐車場が十分でない。遠方から訪れるには、公共交通機関を利用するのは不便ではないか。駅前には民間駐車場がある程度あるが、山王八橋地区には駐車場が少ない。	全県大会等の際、主催者、選手、応援の家族等の車に十分に対応でき、かつ、周辺で交通渋滞が生じない適正な規模である500台としました。数千人もの観客が訪れる興行時には、公園周辺の公共・民間駐車場(約1,200台)の活用や、秋田駅周辺の民間駐車場(約2,600台)と路線バス・タクシーを組み合わせたパークアンドライドのほか、興行主の責任において臨時駐車場を確保し、シャトルバスを運行するなどの対策を講じることが適当と考えております。
10	50	緑地・遊具公園等の外構	丘は不要である。代わりにアリーナ外周に屋根付き散歩コースを整備することで、雨でも散歩できる。また、アリーナに入る前でも利用者の雨風の対策となる。	丘を生かした整備を行うことにより、緑地と一体化した特徴的な施設にしたいと考えております。御指摘の対策については要求水準書等の策定の参考といたします。
11	51	建物機能・規模、設備	「稼ぐ施設」として、コンサートを開催しやすい施設(コンクリート床、ポータブルフロア、大きな搬入口の採用)としてほしい。	新県立体育館は、スポーツ興行や競技大会、県民の一般利用等のスポーツ利用を優先するため、敷設と保管に多くの労力と費用がかかるコンクリート床・ポータブルスポーツフロアは適さないと判断しております。北海道や宮城県では、木床の施設で数千人を動員する全国ツアーなどの開催実績があることから、木床であっても、コンサート利用に対応できる構造や仕様について、今後、要求水準書等の内容を検討してまいります。
12	52	建設場所	地元住民(ごく一部の秋田市民)から体育館に隣接する丘や緑地を残すよう要望があったことを理由に、土地を所有する秋田市の要請に応じ丘を約8億円かけて造成する計画を示しているが、その費用で放送局跡地や秋田駅東側駐車場、社宅用地などの土地を買い取り、建設してはどうか。	建設場所については、公有地であり、都市計画と整合性のある場所として、八橋運動公園と県立中央公園を候補地とし、交通アクセスの状況や、賑わいづくり等を考慮し、八橋運動公園内に整備することとしました。民有地を取得し、整備することは、財政負担やスケジュールの観点からも極めて困難であると判断しております。

新県立体育館整備基本計画(案)パブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見要旨	県の考え方・対応
13	53	駐車場・アクセス対策	秋田市立体育館で実施している秋田ノーザンハピネッツでの試合では、約4000人の観客数に対して、開場前の朝10時に駐車場が満車となるなど、駐車場が不足している。シャトルバスの運行などの対策は講じているものの、付近の商業施設への違法駐車が横行している。県内外からの来場者やチーム等の利用実態を考慮すると、駐車場は500台では足りない。そこで、秋田市文化会館跡地の整備や、県庁や市役所、秋田地方裁判所などの施設の駐車場を土日開放などにより、より多くの駐車台数を確保すべきと考える。	全県大会等の際、主催者、選手、応援の家族等の車に十分に対応でき、かつ、周辺で交通渋滞が生じない適正な規模である500台としました。数千人もの観客が訪れる興行時には、公園周辺の公共・民間駐車場(約1,200台)の活用や、秋田駅周辺の民間駐車場(約2,600台)と路線バス・タクシーを組み合わせたパークアンドライドのほか、興行主の責任において臨時駐車場を確保し、シャトルバスを運行するなどの対策を講じることが適当と考えております。なお、現在でも、土日は秋田市役所、県庁は駐車場を開放しており、国合同庁舎の一部も興行の主催者向けに貸し出されています。
14	54	建物機能・規模、設備	座席数6000人、立見を入れて6500~7000人規模のアリーナとしてほしい。	アリーナの規模はBプレミア基準を上回る6,000人以上を最低基準とし、それをどの程度上回って整備できるのか民間事業者の提案に委ねることになります。
14	55	駐車場・アクセス対策	ハピネッツの試合の観客数や周辺施設における無断駐車の状態、選手や関係者用の車両の状態を考慮すると、駐車場は少なくとも700台は必要であり、併せて、近隣に臨時駐車場を設置してほしい。	全県大会等の際、主催者、選手、応援の家族等の車に十分に対応でき、かつ、周辺で交通渋滞が生じない適正な規模である500台としました。数千人もの観客が訪れる興行時には、公園周辺の公共・民間駐車場(約1,200台)の活用や、秋田駅周辺の民間駐車場(約2,600台)と路線バス・タクシーを組み合わせたパークアンドライドのほか、興行主の責任において臨時駐車場を確保し、シャトルバスを運行するなどの対策を講じることが適当と考えております。
14	56	緑地・遊具公園等の外構	ベンチや遊具など設置して憩いの場として緑地を造る事は大賛成だが、災害時やバリアフリーの観点、費用面から、高さのある丘を造るのは反対する。丘を作らずに、防災公園として利用できるよう整備するべきである。	丘を生かした整備を行うことにより、緑地と一体化した特徴的な施設にしたいと考えております。また、八橋運動公園は、秋田市の指定緊急避難場所となっており、新県立体育館も連携して防災面での役割を果たしてまいります。
15	57	建物機能・規模、設備	トイレを多く整備してほしい。	Bプレミア基準に対応するため、アリーナには170器以上のトイレ(収容人数6,000人以上の場合)を設置する計画です。
16	58	建設の是非、目指す姿	健康づくりや体力づくりイベント、市民スポーツ教室、パラスポーツ教室、ジムやスポーツショップ、カフェ、スポーツミュージアムなど、一般県民が日常的に利用できる場であるとともに、緑地にニックネームをつけるなど、県民にとって親しみやすい場としてほしい。	新県立体育館は、様々なスポーツ利用に加え、県民が集う施設となるよう整備します。緑地や公園などに県民に親しみを持ってもらえる工夫については、要求水準書等の策定の際の参考といたします。
16	59	建設の是非、目指す姿	学生や社会人の大会でメインアリーナは決勝トーナメントやベスト4以上での使用とし、決勝ではセンターハングビジョンに出場選手の氏名・顔写真紹介などの演出も可能とするなど、スポーツを「する」県民の目標となる施設にしてほしい。	アリーナは、アマチュア選手にとっても憧れの舞台になると考えており、大会主催者によるセンターハングビジョン等を利用した演出も可能な施設となります。
16	60	建設の是非、目指す姿	「みる」スポーツとして、各種エンタメに対応できる音響や照明設備のほか、VIPルームなど非日常性等を備えた施設・設備の整備と運用をしてほしい。	アリーナは、センターハングビジョン等の映像装置や、音響・照明設備を導入するほか、スイート・ラウンジを整備し、非日常性を備えた施設とします。御意見は、要求水準書等の策定の際の参考といたします。
16	61	建設の是非、目指す姿	「ささえる」スポーツとしてボランティアの研修や活動の拠点となるようにしてほしい。	新県立体育館は、研修などに活用できる多目的室等を整備することとしており、ボランティアの研修活動拠点としての利用も可能です。
16	62	建物機能・規模、設備	災害時の拠点となる構造・設備を備えてほしい。	新県立体育館は、多目的室や飲食施設、医務室などを備え、災害時の避難所としての活用が期待されます。現県立体育館は秋田市の指定避難所となっており、建て替え後も、引き続き指定避難所となることを前提に、関係機関と調整を進めてまいります。

新県立体育館整備基本計画(案)パブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見要旨	県の考え方・対応
16	63	建物機能・規模、設備	内装への県産材の活用、再エネなど環境に配慮した施設にしてほしい。	アリーナの内装などで県産材の活用が期待されるほか、環境に配慮した施設となるよう、今後、要求水準書等の内容を検討してまいります。
16	64	その他	新県立体育館への愛着の醸成のため、クラウドファンディングを採用してほしい。	新県立体育館が県民に長く愛されるよう、ネームプレートの募集などについて検討してまいります。
17	65	建物機能・規模、設備	子育て世帯が安心して観戦を楽しめるよう、子供の遊び場が隣接した観覧スペースを設置してほしい。スペースを利用するのにある程度金額がかかるとしても、子育て世帯は利用したいと思うはずである。イベント時以外でも有料の屋内の遊び場として利用できれば、なお望ましい。	御提案の内容は、アリーナに整備するスイート・ラウンジやバラエティシート等を主催者が有効に活用することで実現することができますので、アリーナの利用が想定されるプロスポーツチーム等に提案してまいります。
18	66	建物機能・規模、設備	最新のモニターを備えた7000～8000席の施設してほしい。	アリーナは、スポーツを「みる」ことを重視し、センターハングビジョンなどの映像装置を整備し、収容人数は、プロバスケットボール興行時に6,000人以上となることを最低基準とします。
18	67	建設場所	建設場所は八橋運動公園が望ましい。一般市民も健康増進のためには積極的にスポーツを楽しむべきである。新しい施設になることで、体育館を使ってみたくて興味を持つ人が増加することを期待する。	新県立体育館は、利用者の利便性を考慮し、大型電動間仕切り設備を設置し、異なる競技を同時に行うことができるサブ体育館と、レクリエーション・スポーツも可能な多目的室を整備します。
18	68	駐車場・アクセス対策	駐車場は、有料の立体駐車場とし、ロータリーもあれば望ましい。	都市公園法上の建築面積の規制に抵触するため、八橋運動公園内に立体駐車場を整備することはできません。また、公園外への整備については、多額の整備費と維持管理費が想定されるため、難しいものと考えております。 ロータリーについては、新県立体育館だけでなく、公園全体の利便性を向上させるためにも必要な機能として整備する計画です。
18	69	その他	今後の人口減少に鑑み、収益性や維持費の確保が懸念される。収支について綿密に計画してほしいが、採算が悪化した場合、県民はどのくらい負担を負うか。	現時点の見込みでは、施設の維持管理費・運営費は年間約4.2億円と見込まれている一方、収入は施設使用料等で年間約1.5億円となっていますが、ライフサイクルコストの低減を意識した施設整備や、ネーミングライツの導入などにより、収支バランスの改善を図ってまいります。
18	70	その他	コンサートの誘致は非常に困難。少なくとも青森・岩手レベルにはアーティストを誘致できると結果で示してほしい。	新県立体育館は、コンサート等の開催にも適した施設として整備しますので、指定管理者に対しては、積極的な営業活動により、コンサート等の興行を誘致することを求めています。
19	71	建設場所	八橋運動公園以外に設置できないのか。	運動施設の集積、交通アクセス、賑わいづくり等の観点から、八橋運動公園内が最適地であると考えております。
19	72	駐車場・アクセス対策	立体駐車場を市文化会館跡地や放送局跡地に設置できないのか。	立体駐車場を公園外に整備することは、多額の整備費と維持管理費が想定されるため、難しいものと考えております。
19	73	建物機能・規模、設備	座席の前後の間隔にゆとりを持たせてほしい。	頂いた御意見は、要求水準書等の策定の際の参考といたします。

新県立体育館整備基本計画(案)パブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見要旨	県の考え方・対応
20	74	駐車場・アクセス対策	アクセスについて、特定の交通手段に誘導するのではなく、県民・利用者のニーズに耳を傾けるべき。アクセスに関する県民アンケートを実施するべき。	これまで、県民意見の募集や本パブリックコメントの実施などにより、県民の皆様から様々な御意見をいただいております。そうした御意見に加え、競技団体のヒアリング、専門的な調査なども踏まえ、アクセスは公共交通を基本とし、駐車場については、全県大会等の際、主催者、選手、応援の家族等の車に十分に対応でき、かつ、周辺で交通渋滞が生じない適正な規模として、500台程度整備します。
20	75	駐車場・アクセス対策	路線バスのダイヤが新県立体育館で開催されるイベントに対応していないという認識・視点を持つべき。	建設場所の前を走る路線バスは、夜間の運行本数が少ないため、夜間の興行の際は、主催者がシャトルバスを増やすなどの対策を講じる必要があると認識しております。
20	76	駐車場・アクセス対策	イベント開催時における公共交通機関との連携や他の運動施設におけるイベント時など様々な場面を想定したシミュレーションを行うべき。	イベントの内容や開催時間、周辺施設の利用状況に応じて、必要となるアクセス対策は異なると思われるため、興行主には、シャトルバスや臨時駐車場の確保、誘導員の配置など、様々な対策と周知が求められます。県としては、大規模な興行のために施設を貸し出す際は、こうした対策を講じるよう主催者に要請したいと考えております。
20	77	駐車場・アクセス対策	特に平日夜開催のイベントは、車の利用が多く想定されることなどから、より多くの台数が駐められる駐車場の整備が必要ではないか。	全県大会等の際、主催者、選手、応援の家族等の車に十分に対応でき、かつ、周辺で交通渋滞が生じない適正な規模として、駐車場の台数は500台としました。数千人もの観客が訪れる興行時には、公園周辺の公共・民間駐車場(約1,200台)の活用や、秋田駅周辺の民間駐車場(約2,600台)と路線バス・タクシーを組み合わせたパークアンドライドのほか、興行主の責任において臨時駐車場を確保し、シャトルバスを運行するなどの対策を講じることが適当と考えております。
20	78	駐車場・アクセス対策	興行時は、興行主のためだけでなく、より多くの一般県民や観客が駐車場を使用することができるような運用を図るべきではないか。	多くの集客が見込まれる興行時に、誰でも自由に駐車場を使用することができるようにした場合、車が殺到し、深刻な交通渋滞の発生が懸念されます。このため、興行主が駐車場を借り上げ、関係者や特典付きのチケットの購入者のみが駐められるスペースとして運用することが望ましいと考えております。なお、こうした対策は、他県のスタジアムやアリーナ等では一般的なものになっております。
20	79	駐車場・アクセス対策	建物整備後は一定期間駐車場が不足することから明確な対策が必要である。例えば、文化会館跡地や国の出先機関の駐車場の活用を図るべきではないか。	御指摘のとおり、新県立体育館の開館後、直ちに500台分の駐車場が整備できるわけではありません。全ての駐車場が整備されるまでの期間における必要な対策については、御提案の手法も含め、検討してまいります。
20	80	駐車場・アクセス対策	新体育館と駐車場の運用開始後、運用状況の検証の仕組み作りが必要である。運用後に駐車場の不足が生じた際に確保できる体制の整備を図るべきではないか。	新県立体育館の運営段階で、県が求める水準で運用されているか確認する「モニタリング」を行います。駐車場については、周辺の主要交差点で交通量調査を実施した結果、500台程度が周辺に交通渋滞を生じさせない適正な規模であることを確認しておりますが、開館後の交通渋滞の状況についても、モニタリングで監視し、必要に応じて対策を検討してまいります。
20	81	緑地・遊具公園等の外構	興行時、秋田市立体育館では、開場前に屋外に長蛇の入場待ちの列が伸び、雨や雪の悪天候時にも遮るものがなにも無い中で長時間間立って待つしかない。待っている時間も快適で楽しいという工夫が賑わいの創出につながる。屋内での入場待ちスペースの確保やひさしの設置など、利用者にとって優しく、秋田の気候に合わせた導線の確保を諮るべきである。また、市立体育館では、イベント終了後、シャトルバス待ちの列も、雨風雪の中で順番待ちとなっている。快適な待機スペース・導線の確保により、シャトルバスの利用促進につながる。	頂いた御意見は、要求水準書等の策定の際の参考といたします。

新県立体育館整備基本計画(案)パブリックコメント一覧

意見者	No.	区分	意見要旨	県の考え方・対応
20	82	緑地・遊具公園等の外構	飲食店等のスペースは、施設内外から利用でき、賑わい創出につながる施設とすること。また、渋滞緩和のためにもイベント終了時でも残ることができる施設とすること。	頂いた御意見は、要求水準書等の策定の際の参考といたします。
21	83	建設の是非、目指す姿	新県立体育館整備は、八橋運動公園周辺の街づくりとして、山王八橋地区再開発の視点で行うべきである。その際は、山王日吉神社、川尻総社や菅原神社など、山王八橋地区の歴史ある社寺も新しい街づくりとともに、祭礼を盛り上げるなど同時進化してほしい。また、秋田市外旭川のまちづくり計画と歩調を合わせて整備するほか、同計画の推進に当たっては、外旭川土崎飯島など歴史文化を見直し、掘り起こしていくべきである。	新県立体育館整備は、再開発事業という性格は持ち合わせておりませんが、単なる建物の建替にとどまらず、地域の賑わいづくりの拠点となる施設として整備します。
22	84	駐車場・アクセス対策	丘の再形成には反対する。陸上競技場、野球場など同じタイミングで使用されることも想定されるが、その場合、駐車場はどうするのか。丘の整備費用を駐車場整備に回し、より多く駐められる立体駐車場を整備すべきではないか。	丘を生かした整備を行うことにより、緑地と一体化した特徴的な施設にしたいと考えております。駐車場については、全県大会等の際、主催者、選手、応援の家族等の車に十分に対応でき、かつ、周辺で交通渋滞が生じない適正な規模である500台としました。数千人もの観客が訪れる興行時には、公園周辺の公共・民間駐車場(約1,200台)の活用や、秋田駅周辺の民間駐車場(約2,600台)と路線バス・タクシーを組み合わせたパークアンドライドのほか、興行主の責任において臨時駐車場を確保し、シャトルバスを運行するなどの対策を講じることが適当と考えております。 また、都市公園法上の建築面積の規制に抵触するため、八橋運動公園内に立体駐車場を整備することはできず、公園外であっても、多額の整備費と維持管理費が想定されるため、難しいものと考えております。 なお、陸上競技場や野球場など市の運動施設に併設されている駐車場は、各施設の専用駐車場として秋田市が運用しているものであり、新県立体育館の利用者は、原則として駐車できません。
23	85	緑地・遊具公園等の外構	丘は大雨で崩落する恐れがあるほか、人が近寄らなくなるため整備は不要。代わりに平地にして桜を植えてほしい。	丘を含め、外構については、安全性を第一に整備します。
23	86	駐車場・アクセス対策	迷惑駐車を防止できる台数分の駐車場を整備してほしい。	全県大会等の際、主催者、選手、応援の家族等の車に十分に対応でき、かつ、周辺で交通渋滞が生じない適正な規模である500台としました。数千人もの観客が訪れる興行時には、公園周辺の公共・民間駐車場(約1,200台)の活用や、秋田駅周辺の民間駐車場(約2,600台)と路線バス・タクシーを組み合わせたパークアンドライドのほか、興行主の責任において臨時駐車場を確保し、シャトルバスを運行するなどの対策を講じることが適当と考えております。
24	87	緑地・遊具公園等の外構	丘について、現状と全く同じものを作る必要はない。緑地の整備には賛成だが、丘に拘る必要はない。	丘を生かした整備を行うことにより、緑地と一体化した特徴的な施設にしたいと考えております。
24	88	緑地・遊具公園等の外構	福祉公園を一体的に整備すべき。	管理者である秋田市の意向を確認してまいります。
24	89	駐車場・アクセス対策	文化会館跡地を活用するなどし、立体駐車場を整備すべきではないか。	立体駐車場を公園外に整備することは、多額の整備費と維持管理費が想定されるため、難しいものと考えております。